

片田・野田のため池群

(かただのだのためいけぐん)



全景



梅が咲き誇るため池の畔

ため池の概要

ため池の所在地

三重県津市

ため池の特徴

岩田川上流部の里山に点在する約30ヶ所のため池群は、多くが江戸時代に築造されたもので、現在でも150haを超える農地の用水源として利用されています。

近年、農業者の高齢化や減少が進み、ため池の維持管理が難しくなっていますが、農村8集落と住宅3団地からなる片田地区では、「地域ぐるみ」で維持管理を行うため、地元自治会、小学校、県庁、水土里ネットみえが参画し協議会が設立されました。

ため池点検パトロールに住民が参加し、決壊を誘発する流木を撤去する活動や、片田地区歩こう会の地区行事を活用してため池の必要性を伝える啓発活動などが行われています。

トンボ類などの水生生物も24種が確認され、またオオタカ等の希少種をはじめとした数多くの動植物も確認されています。

一方、ブルーギルやミシシippアカミミガメなどの外来種の存在が明らかとなったことから、改修工事に併せて「池干し」を行い外来魚駆除が行われました。その結果、減少していた小魚が増加し、しばらく姿を消していたカイツブリが戻ってきています。

関連情報

紀伊・環境保全 & 持続性研究所ホームページ

<http://www.zc.ztv.ne.jp/kiikankyo/newpage1%20TameikeTsuAkalke.html>